



被災者到着

例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114

事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

HP:<http://www.sanjo-nrc.org> AD:north@sanjo-nrc.org

発行:三条北ロータリークラブ 会報委員会

国際ロータリー会長:レイ・クレンジンスミス
 地区ガバナー:東山昕也(高田RC)
 三条北RC会長:小林繁男
 三条北RC幹事:西村 護
 三条北RCSAA:岡田大介

■出席状況

・本日の出席:69名中36名

・先々週の出席率:69名中49名
 71.01% (前年同期74.65%)

■本日の行事:卓話

「三条の職人さん」

■本日のゲスト:

三条ロータリークラブ
 会長 樺山 仁 様

■先週のメイクアップ:(敬称略)

3月 9日三条RCへ 小林繁男
 中條耕二、西村 護
 10日加茂RCへ 中條耕二
 15日次年度ミーティング
 星野義男、石川一昭
 早川龍雄、斎藤 正
 丸山 勝、小林繁男
 外山裕一、渋谷義徳
 大野新吉、金子太郎
 坂内康男

■本日のメニュー:1713kcal

玉子スープ	197
サラダとミニロースカツ	260
鯖のツナと大根のはりはり	65
チキンカレー	938
ライス	168
苺のヨーグルトムース	85



庭の水仙が開きました

会長挨拶:小林繁男会長



開会の前に、今回の災害犠牲者に黙祷をお願いします。

今回の地震は想定外の規模でまだまだ被害者が増えるようです。

多数の犠牲者が出ていますのでロータリーアンもいらっしゃると思います。

これだけ離れている、このあたりでも影響が出始めているようです。

計画停電も始まるようです、仕事もどうなるかと心配ですが落ち着いた対応をしていきたいと思っております。

そんな中ですが、今日は斎藤会員が快復されて出席です。ありがとうございました。

今日は親クラブであります三条ロータリークラブの樺山会長さんから卓話をしていただきます。

よろしくお願ひいたします。

幹事報告:西村 護幹事



・本日は特に報告文書等は届いておりません。この度の地震で多数の方が亡くなられて居ります、ご冥福をお祈り申しあげます。



■ロータリー財団BOX：15日現在累計241,000円

■米山奨学BOX：15日現在累計381,000円

■ニコニコBOX：15日現在累計811,200円

樺山 仁君（三条RC）東北関東大震災で大変な事となりました。早く復興を願うのみです。

本日は卓話にお邪魔いたしましたよろしく願いいたします。

中條 耕二君 三条クラブの樺山会長さんを心から歓迎します。

斎藤正さん退院おめでとうございませす。心からお祝いします。

小林 繁男君 樺山会長、本日は当クラブにて卓話ありがとうございます。先日は三条クラブで卓話させていただきましてありがとうございます。よろしく願いいたします。

西村 護君 樺山会長、本日は当クラブにて卓話ありがとうございます。よろしく願いいたします。

米山 忠俊君 三条RC樺山会長様、本日はようこそお出で頂きました。卓話よろしく願いします。斎藤正先輩、今日は元気な顔を拝見させて頂きありがとうございます。

笹原 壯玄君 今日はお釈迦様の涅槃会でお亡くなりになった日です。それにしても東北関東の大地震は日本、世界の悲しみを越えた天災ですね。

斎藤 正君 三条クラブ樺山会長さん卓話にお越し頂きましてありがとうございます。

10日余りの静養で精気澆刺、矢でも鉄砲でも持ってこいの気分です。

早川 瀧雄君 三条ロータリーの樺山会長、卓話宜しく願いします。

星野 義男君 樺山仁会長の卓話に感謝して!!

丸山 達夫君 ノーコメント

本間建雄美君 三条クラブ樺山会長様、本日の卓話よろしく願いいたします。

皆さん、BOXに協力ありがとうございます。

本日の行事：卓話「三条の職人さん」 三条ロータリークラブ会長 樺山 仁 様



皆さん、今日は。三条クラブの樺山と申します。

11日の午後2時46分東北関東大震災が起こりマグニチュード9.0、津波の恐ろしさ、惨事がテレビで放送されますと本当に吃驚します。今までに見たことのない様なことが現実にあるわけです。「天災は忘れた頃にやってくる」と言いますが、前後左右に5～6分揺られていますとその後にも揺れているような気がしていよいよ中風が出たのかと言うような気持ちでした。

早く復興が成されればいいと思いますが、なかなかそれもならないのではないかと考えております。

日頃は、三条市内4クラブがスクラムを組んで絆を一層強める為に色々御協力を頂き、誠にありがとうございます。

3月6日はローターアクトの地区大会に御協力頂き、感謝に耐えませぬ。そして、本日久し振りの卓話の機会を頂き、又貴重な時間を頂き、少しビビっております。

自己紹介を致します。生まれは東京で、終戦の時国民学校の2年生でありました。ちょうど昭和20年3月10日が東京の大空襲で、66年経っている訳です。この空襲で多くの方が焼き出され、親は子供を疎開させながら生活して来た訳です。

私も母親の実家が長岡で、4月から疎開しながら学校へ行っていました。ところが、20年8月1日、長岡の空襲に遭いました。長岡では、多くの方が亡くなってしまいました。信濃川の河辺りに水を求めて倒れている、子供の頃の記憶がまざまざと残っております。

若い方は無論の事、長岡との距離がありますので、直接分かりかねると思いますが、大変な時期を経て来た訳です。

東京へ帰ってからは、世の中あまりにも急速な変化で、生活は食料難で、毎日の食料を調達、確保する為、都民が焼後の空地を利用して、食物を育てて自給したものでした。

先月2月13日日曜日AM8時から、NHKの「小さな旅」と言う番組で、三条の職人さん、刃物鍛冶である日野浦さん、飯塚さんなど、懐かしく放送を拝見しました。

最近になって、行政と鍛冶道場とが知名度の向上をさかんに進める様に頑張っている様ですが、この三条の素晴らしい伝統と技術をもっと外へアピールし、知名度の向上を目指し、三条の文化の一つとしてもっと認知力を付けなければならないと思います。

地場の大切な産業である伝統技術をもっと全国に発信し、誰もが認める技術を三条の物産として広めねばと思っております。

金物卸売に携わってから 40 数余年経ちましたが、未だに三条の市民の方が、地場の歴史ある優れた職人達の「技」について、一部の方々を除いてよく理解されていない様です。本日はそんな技を持った職人さんの事、又その頃の世の中の事について振り返りながらお話し致します。

新潟県三条市は木工刃物の集産地で、兵庫県の三木市と、日本の二大産地として現在に至っております。その歴史は古代からあったのではなく、徳川末期から明治時代にかけて基盤を造ったと言われております。

鍛冶屋さんは古くから全国のあちこちであったと思われませんが、もちろん野鍛冶と言う方々は三条にもおられた訳です。木工の刃物に関してはまだ歴史が浅く、150 年位の歴史しかありません。徳川時代、会津にある先進的な野鍛冶の会津若松地区と三条が非常に近く行き帰りがしやすく、その影響を受け打刃物鍛冶が増えて来ました。それは、江戸に対して会津よりも容易に江戸へ出て行ける事が、木工刃物の発展に急速に力を出して来た様でございます。

三条島田の鋸鍛冶三代目深沢伊之助さんは、当時の東日本での指折りの鍛冶屋さんで、以前は二代目迄は野鍛冶として包丁を作っていた様ですし、その頃は現在の元町近くにおられた様で、三代目に鋼をいかに薄く削り商品価値を上げ、包丁より薄物造りの鋸の製造が中心になり、徳川末期にはこの鋸の製造を中心とした安来鋼の選別(黄紙鋼、白紙鋼等)、そしてそれを鍛え(鍛造)、熱処理等自前で研究して、その技術と言うものは当地三条にあって、他の鍛冶職人に対する影響は大変なものであったろうと推察します。血縁の方々が鋸鍛冶となり、分家島田の深沢伊之助一門として、後世に伝わっておる訳です。

深沢伊之助を頂点として、深沢一門が共に栄えて来た訳です。その頃、他の野鍛冶と言われる例では、玄能鍛冶、のみ鍛冶、鉄鍛冶、鉋鍛冶、包丁鍛冶等、色々な鍛冶職があった様ですが、鋸鍛冶の場合は鋼をいかに薄く均一に延して行く為には、技術だけではなくそれなりの経済力がなければ出来にくく、規模を維持して行けなかったと思われまます。

野鍛冶の場合、一般に火を起こす火床と鞆(フイゴ)、鉄を鍛え熱間加工する為の金床、槌(玄能)、金箸、焼き入れに使う水槽、そして冷間加工に使う鑪、銚、作業台と万力等が主な設備であった訳でありましたので、現代の仕事場とは違い全く簡素なものが主流であった訳で、戦後の深沢一門の鋸鍛冶の様にスプリングハンマー、エアーハンマー、グラインダー、切断機、又コンピューターの様な自動研磨装置、平面研磨が出来る機械などが開発されて、昔の作業場と比較すると大違いでありました。

鋸鍛冶には、当時の設備としては最高の設備で製品の均一化を進め、昭和の初めから戦後を経て、昭和 40 年代迄は他の打刃物と比べる事の出来ない程、作れば売れる時代でありました。ですから経済的にも最高の稼ぎをした訳でありました。ところが昭和 40 年頃から、今では当り前の電動工具、空圧工具が一般的な道具として使い始まり、現在では替刃式の鋸としてオートメーションで作られる物に変わり、昔ながらの手打の鋸は市場からだんだんと消えて行く様になりました。技術を売っての仕事でしたが、今ではどうやって機械化をして安価な商品に取って変わって来たかが一番の問題でした。

もちろん今でも志ある職人さんは、未だ昔の方法で製品化を夢みている訳ですが、後継者への育成もままならない様で、風前の灯火であります。現在のまま推移するのではなく、全く無くなってしまわないかと残念でたまりません。時代の流れの前には、どうしようもない様です。

三条には、お話致しました鋸鍛冶、三代目深沢伊之助を先頭に、山口助左エ門、大場正一郎さんなどはモロ手仕上の平面を銚でけずる銚仕上の鋸を代表する様に、当時は最高な商品を世の中で使用されて来ましたが、今では電気式丸鋸が当り前で、スイッチを入れれば即 OK、1 寸 6 分(160 mm)切断出来れば OK と言う機械が普通使われている訳です。

当時の電動工具の刃物も、一般的な丸鋸で厚さが SK 材で 0.75~1 mm 位と、機械刃物として一般的でありました。時代の流れは早いもので、次から次へと耐久的に良い材料を選び、切削面は超硬のロー付加工が出来る様になって、現在当り前のチップソーが出現した訳です。

金物業界では、未だ一般的な刃物でない頃、私の後輩で(株)アマダと言う機械メーカーに入っていた友人がおりまして、たまたま神奈川工場を見学するチャンスがあり、見てびっくり、チップ

ソーで、鉄の材料を切断している事でした。今で言うメタルソーと言う品物で、超硬の物質のほんの1mm×2mm×1mm位の物をロー付で刃先に結合させて作った、ロー付技術でありました。私は鉄が切断出来るなら、木材の切断などいとも簡単と思い、これを機会にチップソーの販売を試してみました。今では中国産も多く見られる時代ですが、当時は高値の花で、例えば丸鋸(電動工具)が160mm用で当時1万2000円位と思いますが、超硬刃物が8000円もしており、いかに刃物の価格が高い物と、びっくりしておった頃でした。

当時、日本の電動工具のメーカーでは、チップソーを販売しておりませんでしたので、金物業界では私がハシリの仕事でありました。何でも新しい物に取り付く事は大変な事でした。

話は元に戻りますが、三条での鋸鍛冶は、徳川末期には三代目伊之助は鋸を作り、その玉鋼の選別、鍛造、熱処理において名工たる域を作り上げ、明治時代には技術の最高のところまで伸びて行った訳です。

当時日本での刃物の先進地域の兵庫県三木の鋸鍛冶の宮野平次郎の作品を研究しておられた様ですし、一門の方々の技術集団は伊之助を中心に発展して来ておりました。

三条市にはノミ鍛冶、鉋鍛冶、玄能鍛冶、包丁鍛冶もたくさんおりましたが、鋸鍛冶の設備の規模は桁違いであり、その経済力はすさまじいものであり、他の野鍛冶はもとより問屋よりも経済力のある鋸鍛冶が何軒もあった様です。現在では、電動工具や替刃式鋸の普及により力が衰えてしまった訳ですが、鋸鍛冶の文化として重要な事を残していった訳です。三条市では、近年平成16年7月に五十嵐川の氾濫があり、これにより多くの鍛冶屋さん、木工手道具に関わる職人もたくさん廃業してしまいました。これらの手木工道具が売れる時代が続いていれば、再起して仕事を続けて行ける人々がいた訳ですが、時代の流れと言いますか、非常に少なくなってしまう様です。

水害は、仕事の滅びのタイミングを少し早めた様になりました。

三条の刃物研究家、東京大学冶金工学卒 岩崎航介・重義親子より科学的知識を多く学び、玉鋼から青紙、白紙、黄紙、緑紙鋼とハイス鋼をいかに熱処理をし、その刃物に向く鋼を使って、炭素の粒がそろった砂をまいた様な粒が理想とされて、多くの打刃物の職人さんの道しるべとなって来た様です。

岩崎親子は、戦前より刀剣やその素材である玉鋼の研究においては、研究者の内でもよく知られた権威者であり、剃刀を純度の高い炭素鋼で作る仕事をしながら科学的に刃物を評価し、硬度(ロックウェル)や組織(炭素の球状化)を評価の目安とする事で、三条刃物全体的な品質向上を目指した三条の功労者的存在で、岩波書店より「刃物の見方」と言う本を発表し、刃物に対して情熱的に地域の職人に技術を伝達して行った訳です。私も若い頃工業試験場で、硬度について、又球状化の組織について、工業顕微鏡を使い、よく通い勉強したものです。

三条は、平成16年の水害で廃業した鍛冶職や木工屋の話は、たくさん耳にしました。又苦勞して仕事を再開した職人もたくさんいた訳で、三条と言う土地は優れた職人が多く仕事をして、金物卸業である我々がまた全国へ販路を広げる事が出来た基礎的な場所でありました。

三条はそんな職人達が多く点在したので、金物の販売業が栄え、変化しながら現在に至っている訳です。昭和40年代は日本の急激な復興景気と相まって、作れば売れる時代で、今では考えられない様であります。もちろん当時は製品も数がそうそう出来る訳がないですから、問屋はメーカーに朝な夕なに廻って自分の店の為の製品を集め、鍛冶屋さん廻りをよく続けて来た訳です。そして集めた商品の顔を見てから、お客様へ連絡して販売して来た訳です。昭和40年始めは、こんな商売でした。

30年前、我々の仕事は第3木曜日が電休日(東北電力が電気の供給を止める)と言うシステムがありまして、休みもそれに合わせていた様に記憶しております。

昭和40年代はそんな時代で、それが現在につながっておる訳です。三条の技と精神を大切に伝えなければならないと思います。

今日では、三条の物産の一つである刃物類、工具類、機械類、幅広く業種が広がり、基本的に三条の物産の一つとなっております。これらの物産を他地域に負けないピーアールをして行き、三条ここに在りの精神でアピールしていかねばならないと思います。

昔からの「技」、「精神」を後世に伝えながら、地場の産業を盛り立ててゆかねばと思います。

今日は三条の職人さん達を振り返って考えてみました。

この度、地震被害に遭われた地区内の皆様および地域社会の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
 第2520地区榎山ガバナーから連絡があり、ご無事を確認することが出来ました。
 第2520地区から以下のご連絡をお伝えいたします。
 地区およびクラブから救援物資、支援提供の多くの申し出が第2520地区事務所に寄せられて
 感謝いたしておりますが、地区で対応しきれない状況にあります。
 岩手県および宮城県ではそれぞれ対応が異なります。下記の要領でご対応ください。

岩手県での救援物資の受付

下記の岩手県救援物資受付へ必ず連絡し、必要な救援物資を確認の上、指定された住所にお送りください。

民間企業、団体からの受付 (個人からの義援物資は受け付けていません。)

岩手県経営支援課

ファックス： 019-629-5549 電話： 019-629-5544

宮城県での支援物資の受付

送付先

980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1 宮城県県庁

災害対策本部(直通)：0222-211-3362 までお問い合わせください。

(詳細は事務局まで)



わが北ロータリークラブが、いつも気持ち良く例会を開催できるのは「縁の下の力持ち」ロイヤルホテルのスタッフのお陰です。
 第5回は、吉田さんをご紹介します。

■スタッフ紹介 吉田博樹さん (サービス担当)



■年齢 27歳

■血液型 O型

■未婚です。

■趣味 スキー・映画鑑賞

●北クラブへの要望

★特にありません。いつもご利用いただきありがとうございます。

●吉田さんからの一言コメント

★これからも皆様が気持ちよくご利用していただけるように一生懸命対応させていただきます

サービス風景





三条北ロータリークラブ会員企業紹介

「ロータリーの会員は、その一人ひとりが、自分の職業と
ロータリーの理想とを結び環である(ポール・ハリス)」

会員同士が会員企業の職業分類を知ることにより、会員の親睦、相互扶助、
職業奉仕にこの「企業紹介コーナー」がお役に立つことができれば幸いです。



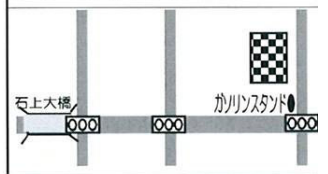
by 会報・広報・資料委員

■会員事業所紹介 ●落合益夫会員 (職業分類・職業奉仕)



■事業所名	株式会社コンピューターシステム
■職種分類	ソフトウェア開発
■住所	〒955-0084 三条市石上2-13-46
■TEL.	0256-31-1311
■FAX.	0256-31-1313

アクセスマップ



👏 こんな仕事をしています

各種ビジネスソフトウェア(販売仕入、人事給与、自動車整備業向けシステム)および特殊ソフトウェア(工程管理システム、POSシステム、CTIシステム)の開発、販売。コンピュータ機器(パソコン・サーバ・プリンタ等)の販売。

●目印は大きな「NEC」マーク



社屋全景



👥 我が社のPRポイント

当社は、基本となる自社開発の中小企業向け業務用ソフトに、お客様の業務内容に合わせたカスタマイズを加えることで、「お客様専用システム」を提供しています。システムの提案・構築を通し、お客様の業務の無駄を省き、作業の効率化やコスト削減のお手伝いをするのが私たちの仕事です。また、ユーザーサポートにも力を入れ、システムの機能や操作方法に関するお問い合わせへの回答や、機器故障時の代替機貸出など、お客様が安心してシステムを運用していただけるサポート体制を整えております。



サービス&サポート室



■会員事業所紹介 ●今井克義会員 (スマイルBOX)



■事業所名	今井歯科医院
■職種分類	歯科医
■住所	〒955-0065 三条市旭町2-2-26
■TEL.	0256-33-3341
■FAX.	0256-33-6566

アクセスマップ



👏 こんな仕事をしています

街の開業医として、患者さんの口腔内の健康維持管理に携わって今年で丁度40年。歯科医療も日進月歩ですから高度な技術が必要な処置はそれが可能な大学病院や市内の医療機関に紹介したりして自分のできる範囲で仕事をしています。

●目印はオレンジ色の看板



医院全景



👥 我が社のPRポイント

企業としてのPRはありませんが歯科医としてのPRを。
〔高齢になる程、よく噛んで食べる習慣をぜひ〕
よく噛んで食べると肥満防止・糖尿病予防・癌予防・ストレスの発散・記憶力アップで若返りますよ。
そのためにはひと口量を今までの半分にして、上品に食べてみてください。効果抜群、お勧めします。



清潔な院内



4月の行事予定 (第4分区内RC)



日	月	火	水	木	金	土
	3/28 三条南RC 卓話 野島廣一郎 会員	3/29 クラブ休会	3/30 クラブ休会	3/31 三条東RC PETS報告会 燕RC 夜例会 加茂RC 次年度に向け	1 吉田RC 通常例会	2
3	4 三条南RC 雑誌月間	5 三条北RC R雑誌月間	6 三条RC PETS報告会	7 三条東RC 会員卓話 燕RC 米山奨学生表彰 加茂RC 雑誌月間	8 吉田RC 通常例会	9
10	11 三条南RC 卓話 高橋祐介会員	12 三条北RC 卓話 国際ライラ2550 地区代表 藤田雅美様	13 三条RC 観桜例会 於:高田公園	14 三条東RC 観桜会 燕RC PETS報告 加茂RC 夜例会	15 吉田RC 例会日変更 (4RC合同観桜会)	16
17	18 三条南RC 卓話 丸山徹夫会員	19 三条北RC 移動例会 於:東公民館 卓話 石田まり子様	20 三条RC 卓話 三条南RC会長 大溪秀夫様	21 三条東RC 会員卓話 燕RC 例会日変更 加茂RC 外部卓話	22 吉田RC 通常例会	23 黒川伊保子講演会
24 頸北RC 30周年 記念式典	25 三条南RC 卓話 三条RC会長 樺山仁様	26 23日社会奉仕 事業と振替	27 三条RC 雑誌月間	28 三条東RC 会員卓話 燕RC 外部卓話 加茂RC 外部卓話	29 昭和の日	30

★上記以外RC 火曜日 分水・田上あじさい 水曜日 巻 木曜日 見附

お知らせ

記帳受付

- 13日(水) 三条RC (三条信用金庫本店)
- 14日(木) 加茂RC (加茂市産業センター)
- 14日(木) 三条東RC (三条ロイヤルホテル)
- 15日(金) 吉田RC (山岸会計事務所)
- 19日(火) 三条北RC (三条ロイヤルホテル)
- 19日(火) 分水RC (新潟大栄信用組合本店)
- 21日(木) 燕RC (燕三条ワシントンホテル)
- 26日(火) 三条北RC (三条ロイヤルホテル)

* 20日(水) 四クラブ合同観桜会 (燕・分水・吉田・巻)

卓話講師

- 燕RC 4/28 燕市々長 鈴木 力様
- 加茂RC 4/21 うすき医院 薄木聡院長
4/28 新潟県薬剤師協会 先生